

## 映像メディア総合研究所 ビジネスセミナー

### 「脱コロナ禍、映像メディア市場の今後を考察する」

昨年の夏以降、コロナ禍による行動制限が解除され、今年5月8日には新型コロナウイルス感染症が5類へと移行、これを受け、テレワークから入社へと戻す企業が増え、日常を取り戻しつつある2023年。3年間続いた〈巣ごもり消費〉が縮小し、一方で〈コト消費〉が急速に回復するなか、映像メディア市場はどのような変化をしていくのか。映像メディア市場を定額制市場と都度課金市場とに分け、映画興行、パッケージソフト、テレビ放送、動画配信、それぞれのメディアの市場背景をひも解き、起こり得る事象を想定しながら、映像市場全体の今後について語ります。

#### ■セミナー内容

●題名：「脱コロナ禍、映像メディア市場の今後を考察する」

●目次：Ⅰ) 定額制ウインドウ

有料テレビ放送（ケーブルテレビ、衛星放送）

SVOD

Ⅱ) 都度課金ウインドウ

映画興行

レンタル（パッケージ、TVOD）※PVOD含む

セル（パッケージ、EST）

Ⅲ) 映像メディア市場全体

#### ■セミナー実施概要

●日時・会場：お申込みをいただいた企業様にお伺いしての出張社内セミナーです。

会場・ディスプレイなどにつきましては、ご用意ください。

日程につきましては、ご相談ください（8～9月実施）。

●料金：15万円（税別）

●所要時間：90分（講演60分+質疑応答30分）